

平成28年度 行政評価委員会評価表

事業名	にいじゅくプレイパーク事業	担当部	教育委員会事務局
		担当課	地域教育課

基本情報

概要	<p>1 にいじゅくプレイパークは、子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶ禁止事項のない冒険的な遊び場とした、新しい形の公園として平成9年5月に開園し、管理運営は地元自主管理方式で青少年育成関係者で組織する「にいじゅくプレイパークの会」に委託している。</p> <p>2 面積 3,096.5㎡</p> <p>3 施設内容 (1) 広場(冒険とりで、ロープウェイ、農園) … 2,991.77㎡ (2) 遊びの基地(工作室、事務室、倉庫、便所) … 軽量鉄骨造 平屋建て 104.73㎡</p>
----	---

活動内容	<p>1 開園時間 (1) 広場:9時~17時 (2) 遊びの基地:(平日)15時~17時、(土日祝)10時~17時</p> <p>2 イベント内容 (1) デイキャンプ・さつまいも収穫祭、工作教室等が開催されている。 (2) 遊びを支援するプレイリーダーを配置している。</p>
------	--

施策番号	2001	施策	青少年のための活動機会を整え、活発に活動できるようにします
------	------	----	-------------------------------

事業の目的	子ども達が「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを主旨とし、子ども達の創造性、協調性、自主性を養うことを目的とする。
-------	--

実績情報

成果指標									
目標・実績	指標	指標の根拠	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	目標
					入園者数	毎月1,000人×12月	人		
実績	事故件数	事故0件	件	実績	12,580	15,417	15,455	0	
				目標	0	0	0		

実績の評価・分析
イベント及び団体利用を除く年間利用者の推移では、平成20年度の18,223人をピークに平成23年度の10,939人まで3年間減となっていたが、それ以降は毎年度増加しており、平成25~27年度は目標値を上回り、平成27年度は15,455人となった。このため、平成28年度の目標値を修正し引き上げることとした。
また、安全対策については、平成18年度のプレイパーク拡張に合わせて、2人体制から3人体制に増員し運営を行っている。今後も無事故を維持していくため、現行の3人体制を継続していく。



活動指標									
目標・実績	指標	指標の根拠	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	目標
					イベント参加者数	年間6事業×50人	人		
実績	325	290	448						
団体利用者数	6団体×40人	人	目標	240	200	240	200		
			実績	122	416	125			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

方向性

評価してもらいたい点 ①あり方 ②課題	① にいじゅくプレイパークは、子ども達が自分の責任で自由に遊ぶ新しい形の遊び場として、地元要望を背景に平成9年5月に開設した。管理運営は地元自主運営方式とし、「にいじゅくプレイパークの会」に運営業務を委託している。年間利用者数は一定数を維持しているが、イベント開催日以外の利用状況は日によって差がある。放課後の過ごし方が多様化する中で、より子ども達に利用してもらえるような運営上の工夫や、平日の事業のあり方等について提言をいただきたい。
所管課 評価による 方向性	改善 管理運営は、プレイパーク事業の趣旨に賛同する地元の関係者で組織する「にいじゅくプレイパークの会」に委託しており、現在、31名のプレイリーダー(指導員)が3人体制で指導を行っている。今後も、地元自主運営方式を継続しながら、次の内容について検討していく。 1 防災活動拠点と併設しているという特徴を活かしたイベントの実施や子どもたちの防災教育の拠点とする。 2 子どもたちの自主性を基本としつつ、イベントや団体利用以外の通常時にも、曜日によって遊びのメニューなどを用意し、初心者の子どものでも利用しやすい環境をつくる。 3 土曜日・日曜日などの休日に、保護者も臨時的なプレイリーダーになって参加できる仕組みを検討する。

コスト内訳(決算)

項目	単位	26年度	27年度	コストの主な内訳
収入	特定財源	千円		
	国庫支出金	千円		
	都道府県支出金	千円		
	その他	千円		
一般財源(a)	千円	6,284	6,050	

事業費	直接事業費(b)	千円	4,704	4,470	
	修繕料	千円	177	84	施設修繕
	光熱水費	千円	196	183	水道・電気料金
	通信運搬費	千円	37	35	電話料金
	委託料	千円	4,056	4,168	運営委託、廃棄物処理委託
	備品費	千円	238	0	エアコン購入
	職員人件費(c)	千円	1,580	1,580	
人件費等	人件費	千円	1,580	1,580	
	再雇用職員	人	0.20	0.20	
	間接費(d)	千円	0	0	
	調整額(e)	千円	40	257	
	減価償却費	千円	0	127	遊び基地(平成27年4月1日公園課より所管換え)
	金利	千円			
	退職給与引当 (控)コスト対象外	千円	40	130	
トータルコスト(f)	千円	6,324	6,307		

単位あたりコスト	項目	単位	26年度	27年度	コスト増減の理由
	単位の定義		延べ参加者数		
	実績数値(g)	人	15,417	15,455	
	単位あたり区単コスト(a/g)	円	408	391	
	単位あたりコスト(f/g)	円	410	408	

にいじゅくプレイパーク



にいじゅくプレイパークとは

にいじゅくプレイパークは、子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶ新しい形の遊び場として、地元要望を背景に平成9年5月に開園しました。管理運営は地元自主管理方式とされ「にいじゅくプレイパークの会」が葛飾区から業務委託を受け、運営をおこなっています。

「にいじゅくプレイパークの会」は、青少年育成地区委員会、青少年委員、子ども会育成会、PTA、自治町会などの社会教育関係者で構成されています。

にいじゅくプレイパークの会

にいじゅくプレイパークの概要

(1) 施設（平成9年5月24日開園）

①葛飾区新宿5丁目21番10号

②面積 3,096.5㎡（街区公園）

③施設内容

I 広場 2,991.77㎡

II 遊びの基地 軽量鉄骨造 平屋建て 104.73㎡
工作室、事務室、倉庫、便所

*土地の管理は、公園課（旧公園維持課）、事業の主管は地域教育課（旧青少年課）で分担

(2) 運営

運営業務については地元自主管理方式となっており、青少年育成地区委員会、青少年委員、子ども会育成会、PTAなどの関係者で構成される「にいじゅくプレイパークの会」に委託されています。

※委託内容

指導員（ボランティア、プレイリーダー）の配置、団体利用受付、遊びの指導、イベントの企画運営、施設整備業務（樹木消毒、草刈り）、賠償責任保険加入など。ごみ回収は専門業者に委託されています。

(3) 開園・開館時間

ア、一般利用

①広場 午前9時～午後5時

（夏休み期間は午後6時まで開園）

②遊びの基地

★月～金曜日 午後 3時～午後5時

★土・日・祝日 午前 10時～午後5時

☆夏休み期間 午後 1時～午後6時

☆春休み期間 午後 1時～午後5時



イ、団体利用

①午前 10時～正午 ②午後 1時～午後5時 ③午後 6時～午後9時

(4) プレイリーダーの配置

子どもの遊びを側面から支援する役割を持ったプレイリーダーについては「遊びの基地」開館時間に配置しています。地元の有志の方々や、一般公募の大学生、社会人などが従事しています。

(5) 利用状況（団体利用者・イベント参加者含む）

平成23年度	10,939人	(11,554人)
平成24年度	11,582人	(12,078人)
平成25年度	12,580人	(13,027人)
平成26年度	15,417人	(16,123人)
平成27年度	15,455人	(16,028人)

(6) 保険

傷害保険および賠償責任保険にプレイパークの会で加入（保険料は委託料に含む）

(7) 経緯

昭和61年	5月	マンション対策委員会が設置される
	8月	地元自治会と区（水と緑の部）が参画
昭和63年	12月	マンション業者から区土地開発公社が買収
平成元年	10月	地区委員会が子供生活環境アンケート調査を実施 ⇒「冒険等ができる遊び場」を望んでいる
平成3年	9月	世田谷区羽根木プレイパーク見学実施 *参加者：地区委員会、区（社会教育課、出張所）
	12月	区土地開発公社から区が公園用地として買収
平成4年	6月	公園課を窓口として新宿5丁目公園用地整備懇談会発足 地域各組織代表60人で構成

【基本構想】

- ①従来の公園法適用外の遊び場とする
- ②「自分の責任で自由に遊ぶ」禁止事項のない冒険的な遊び場とする
- ③自主的な管理運営方法でプレイリーダーを配置

平成6年		児童課に所管変更
平成7年	4月～6月	敷地造成（整地工事）
	7月～平成8年4月	フェンス設置、樹木工事
平成8年	7月	設計、11月工事開始
平成9年	2月	完成
	5月24日	開園
平成11年	4月	青少年課に所管変更
平成14年		隣接地を防災活動拠点公園として購入
平成17年		拡張地を公園整備課が設計委託
平成18年	7月	拡張工事着工、9月完成、10月開園



ぼくたちの楽しい遊び場！！ プレイパーク



《冒険岩》

つり橋やすべり台で、子どもたちはのびのびと遊びます。



《ロープウェイ》

ロープウェイでひとすべり。

《遊びの基地》

電動のこぎりや工具などがあり、木工作などができます。卓球などでも遊べます。プレイリーダーは、ここを拠点に活動します。



《本立て作り》

プレイパークでは、さまざまなイベントを実施しています。子どもたちは、真剣に楽しく取り組んでいます。作品がうまく出来上がると、本当にうれしそうです。

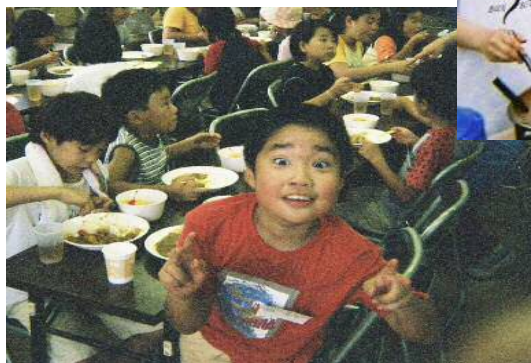


《デイキャンプ》

夏休み中には、デイキャンプが行われ、子どもたちが楽しい1日を過ごしました。

《カレー作り》

デイキャンプでは、夕食にカレーを作りました。みんなで食べるカレーは、とってもおいしかったです。





《木工作》

のこぎりだって、上手に使えるよ。



プレイリーダーの役割

- ①年上の友だちで自らも遊ぶ人（子どものための相談役）
- ②遊び場の環境をデザインし、創る人（子どもに夢を与える人）
- ③遊具や遊び場の安全点検と管理（子どもたちを見守る人）
- ④事故への対応（応急処置・活動日誌の記入・連絡などをする人）
- ⑤子どもたちの代弁者・大人からの防波堤（子どもの味方になる人）
- ⑥磁石の役目（人を遊び場にひきよせる、けんかを見守る仲裁人）
- ⑦しゃべる看板（遊んでいる時に、ダメなことはダメとってくれる人）
- ⑧その他、円滑に日常業務が進むための必要なことを行う

プレイパークの1日（平日の例）

- 9：00 近隣のカギ保管者が、プレイパークのカギを開けます。
来園者は、遊びの基地以外の施設を利用することができます。
- 15：00 プレイリーダーは、カギ保管者からかぎを受け取り、遊びの基地のカギを開け、子どもたちの受け入れの準備を行います。
子どもたちは、利用者名簿に記入します。プレイリーダーの指導を受けながら、遊びの基地で工作をしたり、冒険砦などで自由に遊びます。
- 17：00 子どもたちが帰った後、プレイリーダーは点検を行い、プレイパークのカギを掛け、カギ保管者に返還します。

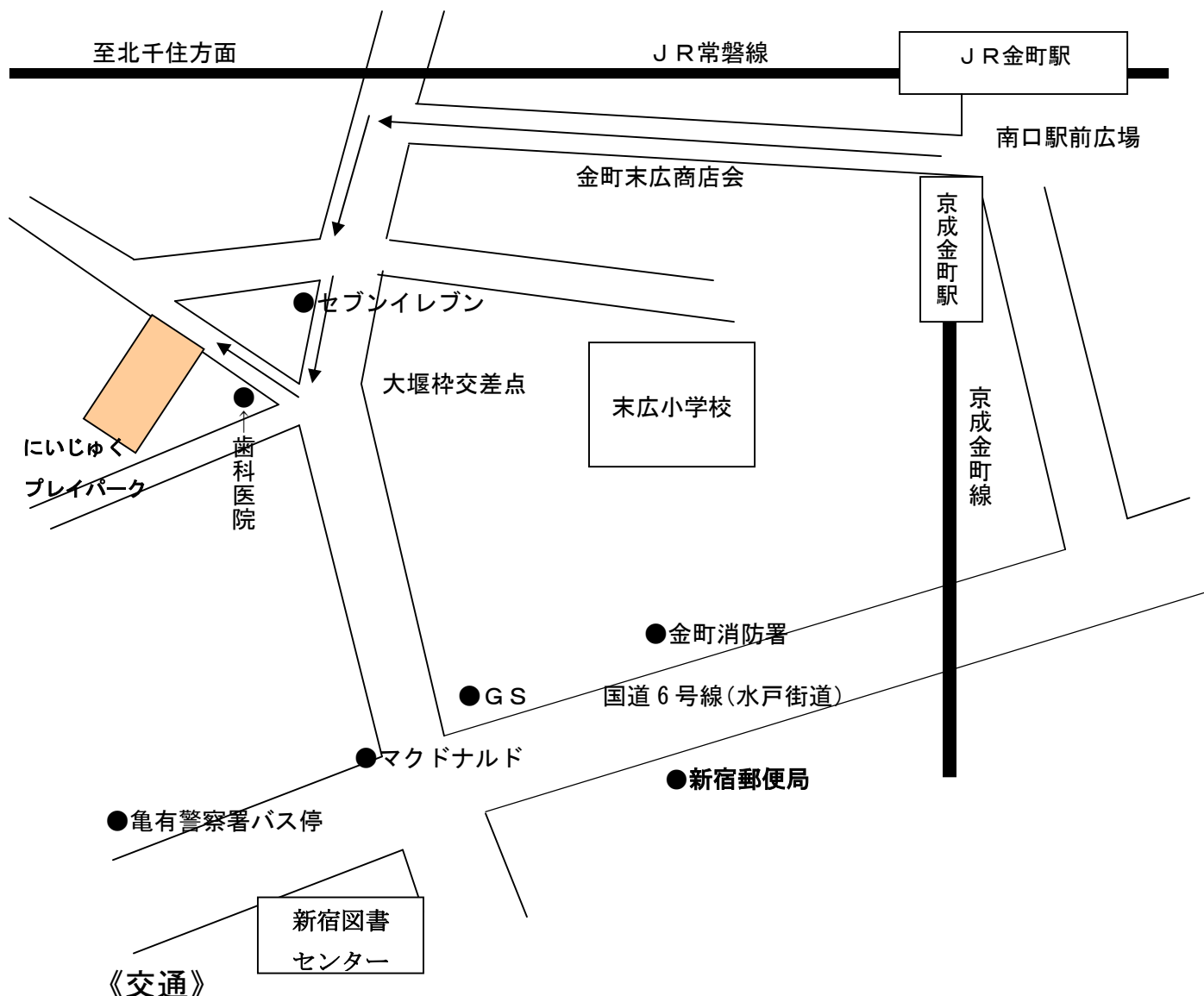
プレイパークのイベント

さつまいも苗植え付け及び収穫祭、木工作教室、デイキャンプ、春まつりなど。

にいじゆくプレイパーク

東京都葛飾区新宿 5-21-10

電話 03-3627-5546



- ・金町駅 徒歩15分(矢印の方向へ)・・・南口駅前広場より末広商店会をすすみ信号を左折し大堰榎交差点の歯科医手前を右折すると広場入り口になる
- ・都営バス(金町駅～浅草寿町・上野松坂屋前)
- 京成バス(亀有駅～京成小岩駅北口)いずれも亀有警察署バス停より徒歩10分
- ・・・バス停から金町1交差点をマクドナルド、GS方向にすすみ大堰榎交差点の歯科医先の道を入り広場入り口になる

にいじゅくプレイパーク 利用者数

1. 年間利用者数

年度	入園者数	団体利用者数	イベント参加者数	計
18	13,138	83	274	13,495
19	16,313	654	479	17,446
20	18,223	366	490	19,079
21	14,199	82	333	14,614
22	13,986	166	507	14,659
23	10,939	364	251	11,554
24	11,582	194	302	12,078
25	12,580	122	325	13,027
26	15,417	416	290	16,123
27	15,455	125	448	16,028
平均	14,183	257	370	14,810

2. 27年度 曜日別入園者数

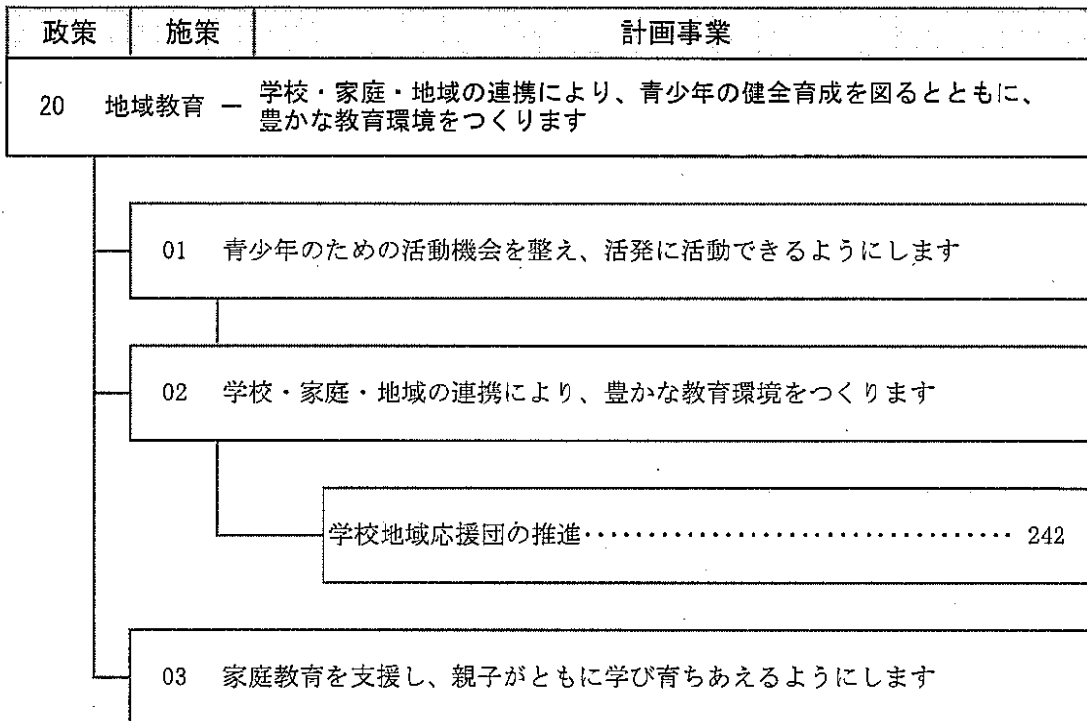
曜日	幼児	小学生	中学生	大人	合計
月	240	1,162	58	232	1,692
火	184	1,106	84	190	1,564
水	224	1,677	124	235	2,260
木	172	1,035	37	169	1,413
金	122	1,110	39	105	1,376
土	526	1,932	147	637	3,242
日	715	2,081	244	868	3,908
計	2,183	10,103	733	2,436	15,455

区内交通公園との利用者数比較

年度	にいじゅくプレイパーク (3,096.50㎡)		新宿交通公園 (11,530.43㎡)		上千葉砂原公園 (20,982.03㎡)		北沼公園 (9,600.80㎡)	
	年間利用者数	㎡当たりの利用者数	年間利用者数	㎡当たりの利用者数	年間利用者数	㎡当たりの利用者数	年間利用者数	㎡当たりの利用者数
18	13,138	4	202,050	18	267,021	13	274,946	29
19	16,313	5	205,090	18	254,737	12	251,714	26
20	18,223	6	201,699	17	228,285	11	240,062	25
21	14,199	5	224,342	19	237,667	11	251,560	26
22	13,986	5	210,682	18	239,904	11	235,680	25
23	10,939	4	262,742	23	231,774	11	179,584	19
24	11,582	4	162,450	14	201,231	10	187,985	20
25	12,580	4	127,647	11	204,923	10	187,899	20
26	15,417	5	152,768	13	230,725	11	195,350	20
27	15,455	5	150,444	13	241,666	12	197,459	21
平均	10,910	4	146,147	13	179,841	9	169,403	18

政策

「20 地域教育 — 学校・家庭・地域の連携により、青少年の健全育成を図るとともに、豊かな教育環境をつくります」の体系



【指標と実績値】

指標	指標の出典	平成25年度	平成26年度
政策(地域教育)満足度平均値(%)	政策・施策マーケティング調査	48.4	48.3

〈事業一覧〉（平成27年度実施）

●施策01 青少年のための活動機会を整え、活発に活動できるようにします

かつしか少年キャンプ	子ども会育成会連合会助成
ジュニアリーダー講習会	少年の主張大会
にいじゆくプレイパーク事業	青少年委員
はたちのつどい	青少年育成地区委員会
ポニースクール	青少年問題協議会
若者の社会参加支援事業委託	善行青少年表彰
子どもまつり	放課後子ども事業（わくわくチャレンジ広場）
子ども会育成会	青少年対象講座等

●施策02 学校・家庭・地域の連携により、豊かな教育環境をつくります

教育広報印刷	課外活動指導員
学校地域応援団	学校支援ボランティア
ひまわり110番協力者保険	

●施策03 家庭教育を支援し、親子がともに学び育ちあえるようにします

P T A 研修会	家庭教育支援事業
-----------	----------

施策

施策 01 青少年のための活動機会を整え、活発に活動できるようにします

【施策を取り巻く現状と課題】

- 青少年の健全育成のため、青少年育成地区委員会や青少年委員などが中心となり、学校と地域の連携を深めながら、子どもたちを対象とした事業の実施や地域の行事、活動への参画を促進してきました。
- 青少年の犯罪や不良行為は、少年犯罪行為者数、少年不良行為者数ともに減少しています。
- 地域が主体となっていく、わくわくチャレンジ広場が定着し、子どもと大人の交流が深まっています。

【施策の方向】

- 青少年には、学校や家庭だけでなく、地域での様々な体験・活動への参加がその成長にとって重要です。青少年の居場所づくりや地域活動への参画の促進、体験活動の機会の提供など、地域の人々や学校、関係機関と協働することによって、青少年の育成に取り組みます。
- わくわくチャレンジ広場が、すべての児童にとって、安全で安心な居場所となるよう対象学年を拡大するとともに、学習、文化・スポーツ指導を実施します。

【指標と目標値】

指標	指標の説明又は出典	現状値 (平成26年度)	平成 30年度	平成 34年度
青少年が地域での体験・活動に参加していると思う区民の割合 (%)	政策・施策マーケティング調査	21.0	21.4	21.8

【現行の設備・行事】



遊びの基地



ロープウェイ



冒険岩

さつまいも植え(5月)

デイキャンプ(8月)

さつまいも収穫祭(10月)

春まつり(3月)

防災イベントの実施
・防災教育の拠点

遊びメニューの設定

保護者の参加

- ①防災活動拠点と併設しているという特徴を活かしたイベントの実施や子どもたちの防災教育の拠点としていく。
- ②子どもたちの自主性を基本としつつ、イベントや団体利用以外の通常時にも、曜日によって遊びのメニューなどを用意し、初心者の子どもでも利用しやすい環境をつくる。
- ③土曜日・日曜日などの休日に、保護者も臨時的なプレイリーダーになって参加できる仕組みを検討する。



防災設備をイベント
などに活用



●マンホールトイレ組み立て体験 ●
かまどスツールを使った炊き出し体験



遊びのメニューを用
意して周知



保護者も臨時プレイ
リーダーとして参加